

学校経営推進費 評価報告書（1年め）

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立八尾支援学校
取り組む課題	生徒の自立支援
評価指標	1 学校教育自己診断アンケートの満足度の向上 2 学校生活における、児童・生徒・保護者の満足度の向上 3 体力テストによる体力の向上と肥満度検査による肥満度の減少
計画名	八尾アスレチックフィールド ～みんなで一緒に楽しみ、自分から身体を動かしたくなる環境づくり～

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	2 キャリア教育・進路指導及び魅力ある取組みの充実による自立や社会参加の実現 (2) 生徒が地域への関わりを深める活動や、余暇活動・健康維持につながる取組みを推進する。
事業目標	① 知的障がい者の体力レベルは健常者と比べ 40～60%レベルとされている。日常的な健康に対する意識と習慣が影響していると考えられるため、本計画を通じ運動をする楽しさを感じると共に、運動する習慣を身に付け、体力レベルの向上をめざす。 ② 体を使いこなす経験と運動する習慣を身につけるだけでなく、友だちや教員と一緒に取り組むことでコミュニケーション能力の向上を図る。 ③ 体力向上を実感し運動に対し自信を持つことで自己肯定感を高められるように計画を進める。
整備した 設備・物品	ゝ ボルダリングウォール（難燃性 FRP 製）W6000×H2500 ゝ ボルダリングで使用するヘルメット（27 個） ゝ ヘルメットの収納ベンチ（2 台） ゝ 築山を芝生化させるための芝生の種（コウライ芝、整地込み） ゝ 芝生を養生するための散水器・散水タイマー・ホース ゝ ウッドチップ敷き均し
取組みの 主担・実施者	主担者：首席・校内選考会での提案者（教員 2 名） 実施者：全教員
本年度の 取組内容	ゝ アスレチックフィールドの完成、教職員に向けた説明、体験。使用に際しての注意事項を作成。（10 月～11 月） ゝ 児童生徒の使用開始（11 月～） ⇒ 特別活動や体育の時間を中心に取り組んでいる。 ゝ 部研修で、『八尾アスレチックフィールド発展・活用検討会』を実施（12 月） ⇒ アスレチックフィールドの充実に向けたアイデアの蓄積や環境整備の意識向上を図った。
成果の検証方法 と評価指標	1 学校教育自己診断アンケートで「学校へ行くのが楽しいですか。」という生徒の満足度を 80%以上（H30 年度 79%） 2 保護者および学校運営協議会の評価（学校教育自己診断、学校運営協議会での意見）

	<p>3 生徒（中学部抽出）の1年間の肥満度上昇値を+1.3%以下（H30年度 1学期 7.6%→3学期 9.1%（+1.5%））</p>
<p>自己評価</p>	<p>1 学校教育自己診断アンケートで「学校へ行くのが楽しいですか。」という生徒の肯定的意見……………（◎） ⇒ R1年度 88%</p> <p>2 学校教育自己診断アンケートで「学校へ行くことを楽しみにしている。」という保護者の肯定的意見が88%（昨年89%）、「施設や整備は児童・生徒にとって安全に整備されている。」という肯定的意見が75%（昨年72%）と高評価を維持できた。……………（○） 第2回学校運営協議会で、委員の方に八尾アスレチックフィールドを見学していただき高評価を得た。……………（◎） ⇒ 「体を動かす楽しみが日常的にできることがよい。」・「アイデアが教員から出たのが素晴らしい。」・「児童生徒が楽しそうに取り組んでいたのが印象的だった。」・「ウッドチップコースは、実際に歩いてみたらバランス感覚を養う効果がある。」など。</p> <p>3 生徒（中学部抽出）の1年間の肥満度上昇値を+1.3%以下……………（○） ⇒ R1年度 1学期 7.8%→3学期 9.1%（+1.3%）</p>
<p>次年度に向けて</p>	<p>z 学校教自己診断アンケートにおいて、満足度や活用度をはかる設問を設定し、肯定的意見70%以上をめざす。</p> <p>z 児童・生徒の自立活動の一環として、芝生やウッドチップの維持・整備に取り組み、小中高で一貫したキャリア教育を推進していく。</p> <p>z 使用開始が11月であったために体力テストの実施はできなかったが、次年度は既存の遊具と組み合わせながらサーキットトレーニング等を取り入れて、体力テストによる体力の向上と肥満度の減少に繋げていく。</p>